

2018年度事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人 鎌倉てらこや

1 事業活動方針

任意団体としての活動を引き継ぎ、全国の範となるよう、地域教育を推進させる。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 自然体験活動に関する事業

ア 海事業（事業名称：「海 L♡VE かまくら」）

- ・内 容 海という鎌倉ならではの自然環境を存分に生かした、様々な体験を実施する。Save Our Shore（神奈川県海水浴場組合連合会）・鎌倉アウトリガークラブ・鎌倉ライフガードに協力いただきながら事業を展開する。
- ・日 時 ①4月29日 ②7月14日 ③10月20日
- ・場 所 材木座海岸
- ・従事者人員 78人（学生・大人合計）
- ・対 象 者 小学校1年～中学校3年生とその保護者
子ども45人 大人24人 合計69人
- ・支 出 329,520円

イ 鎌倉めぐり事業（事業名称：「鎌倉めぐり」）

- ・内 容 鎌倉博士・大貫昭彦先生と鎌倉の自然・史跡を歩きめぐることによって、今まで気づくことのできなかった新たな鎌倉を発見する。子ども・大学生・保護者の3つの世代がともに歩くことにより、新たな関係性の構築を目指す。
- ・日 時 ①6月9日 ②9月2日（雨天中止） ③12月8日 ④3月10日（全3回）
- ・場 所 鎌倉市内
- ・従事者人員 87人（学生・大人合計）
- ・対 象 者 小学校1年～中学校3年生とその保護者
子ども42人 大人17人 合計59人
- ・支 出 127,950円

② 芸術創作活動に関する事業

ア 陶芸教室事業（事業名称：「土と遊ぼう」）

- ・内 容 講師の河村喜史先生のもと、子ども・親・学生の三世代がともに作陶にはげむ。3回を通して一事業とする。最初の2時間が陶芸、残りの1時間は、子どもは学生と遊び、保護者は懇親会を行う。陶芸を通じて、1回目で「できた」、2回目で「つかんだ」、3回目で「やりぬいた」というような感動体験を得てもらえる場を作る。
- ・日 時 49期：①5月13日 ②6月10日 ③7月8日
50期：①9月9日 ②11月11日 ③12月9日
51期：①1月20日 ②2月10日（全8回）
- ・場 所 講師の河村喜史先生宅（鎌倉市山崎）
- ・従事者人員 73人（学生・大人スタッフ合計）

- ・対象者 小学校1年生～中学校3年生および保護者
子ども：81人 大人：41人 合計：122人
- ・支出 596,264円

イ 朗読教室事業（事業名称：「みんなで朗読」）

- ・内容 良い文章を耳で聞き、声を出して読む事を通して、朗読の楽しさを体感する。また、日本語の美しさに対する感性や想像力、読解力を培う。朗読で扱った文学作品の解説を聞き、名作のもつ世界観を味わう。
- ・日時 ①5月27日 ②6月24日 ③7月29日 ④9月30日 ⑤10月28日
⑥11月25日 ⑦12月23日 ⑧1月27日 ⑨2月17日（全9回）
- ・場所 円覚寺塔頭、浄智寺、鎌倉福祉センター、湘南台文化センター、信徒会館、てらハウス、大船行政センター
- ・従事者人員 199人（学生・大人スタッフ合計）
- ・対象者 小学校1年生～中学校3年生および保護者
子ども：138人 大人：118人 合計256人
- ・支出 650,817円

② 広報啓発に関する事業

ア 建長寺合宿事業

- ・内容 建長寺で大学生とお寺の生活を共にする三泊四日の合宿。心の底から楽しみながら、子どもと学生が本気になって遊び・学ぶことから、「当たり前のこと」を一所懸命、本気でやる大切さとその喜びを体感する。
- ・日時 8月8日～11日
- ・場所 臨済宗 大本山 建長寺
- ・従事者人員 156人（学生：118人・OBOG：23名・大人スタッフ：15人）
- ・対象者 小学校2年生～中学校3年生および保護者
子ども：98人 大人：110人 合計：208人
- ・支出 2,583,365円

イ 妙本寺合宿事業

- ・内容 妙本寺で大学生と一緒に、お寺の生活を行う一泊二日合宿。学童保育施設に遊びに来ている子どもたちを主な対象として、お寺ならではの生活体験とともに、子どもと学生が本気になって遊び・学ぶことで、日常の生活では体験できない、心の底からの楽しみを経験する。
- ・日時 8月21日～22日
- ・場所 日蓮宗 比企谷 霊跡本山 妙本寺
- ・従事者人員 101人（学生：88人・大人：13人）
- ・対象者 小学校1年生～中学校3年生
子ども：50人 大人：57人 合計：107人
- ・支出 753,618円

ウ 光明寺合宿事業

- ・内容 光明寺で大学生と一緒に、お寺の生活を行う一泊二日合宿。お寺ならではの生活体験とともに、海に近いというロケーションを活用して、子どもと学生が本気になって遊び・学ぶことで、心の底からの楽しみを経験する。そうした経験から、当たり前のこと一所懸命やる大切

- ・日 時 さとその喜びを体感する。
12月1日～2日
- ・場 所 浄土宗 大本山 光明寺
- ・従事者人員 94人（学生：74人・大人：20人）
- ・対 象 者 小学校1年生～中学校3年生
子ども：55人 大人：40人 合計：95人
- ・支 出 1,181,898円

エ 子どもの居場所づくり事業（事業名称：「休日てらハウス」「平日てらハウス」）

- ・内 容 子ども・学生・保護者がてらハウスに集まり、“本気”で遊び、話し合い、学びあう。そうして過ごす時間から、子ども自身が「やりたい！」と思うことを発見し、学生・保護者の力添えを得ながら、やりたいことを自らの力で実現できるようになることを目指す。
2012年度からは、平日の「てらハウス」の開放も開始している。
- ・日 時 2018年4月～2019年3月
①休日てらハウス：原則毎週土曜日 10：00～16：00（全49回）
②平日てらハウス：原則月～金曜日 15：00～18：00（全179回）
- ・場 所 鎌倉市大船1-25-23 千里ビル3F
- ・従事者人員 ①459人（学生：361人・大人スタッフ：98人）
②1,434人（学生：1174人・大人スタッフ：260人）
- ・対 象 者 小学1年～中学3年生、高校生
① 子ども：414人 ②子ども：744人
- ・支 出 ①982,440円 ②2,383,569円

オ 広報活動・報告書作成事業（事業名称：「鎌倉てらこや広報活動」）

- ・内 容 「鎌倉てらこや」の実際の活動及び理念を多くの人々に理解してもらうために、「鎌倉朝日」に記事を連載、「鎌倉てらこや」HP・Facebook運営等を実施。多くの人々にてらこや活動へと参加してもらう足がかりを作る。寄付者・支援者を対象とした「てらこや感謝祭」（活動報告会）の実施や、銀の鈴社と連携して「てらこや LIVE」（活動写真報告会）も実施。
- ・日 時 「鎌倉朝日」 月1回（毎月1日発行）
HP・Facebook 運営 常時
鎌倉てらこやHP運営
鎌倉てらこや活動報告ブログ「てらのすけが行く」運営
「てらこや感謝祭」（活動報告会）3月17日
「てらこやLIVE」（活動写真報告会）3月28日～31日
- ・場 所 鎌倉市内各所・銀の鈴社ギャラリー・鎌倉大仏殿高德院 他
- ・従事者人員 120人（大学生：100人、大人20人）
- ・対 象 者 参加登録者・発起人・関係団体の方 およそ3,000人
- ・支 出 256,434円

カ 他団体協働事業（事業名称：「都会と田舎を結ぶ食育ネット」）

- ・内 容 学校、家庭、地域の連携のなかで子どもたちを育てる、という理念の実現に向けて、学校との連携（融合）を進めてゆく。つながりのある「食育ネット」と共同で事業を行い、鎌倉附属小学校との連携を深め

ていく。2018年度は、附属鎌倉小学校での畑事業の開催及び、建長寺での食育合宿を開催。

- ・日 時 ①9月9日 ②11月25日 ③1月13日 ④2月23日～24日
- ・場 所 建長寺
- ・従事者人員 153人（大学生：130人、大人23人）
- ・対 象 者 小学校1年生～中学校3年生及び保護者
子ども：112人 大人：75人 合計187人
- ・支 出 0円

キ ネットワーク事業（事業名称：「てらこやネットワーク」）

し、地域ごとに参加者やスタッフ（学生・大人スタッフ・子ども）の交流を図り、各地域の特色を活かし、事業の相乗効果をねらう。

- ・活動内容
 - ・宮島てらこや合宿
 - ・会津てらこや事業
 - ・宮島てらこや秋合宿
 - ・てらこやちば逃走
 - ・てらネットアワード
 - ・軽井沢関東てらこやリーダーズ研修 他
- ・場 所 全国各他
- ・従事者人員 102人（学生86人・大人16人）
- ・対 象 者 てらこやネットワーク参加のJ C・地域の協力者の方々
- ・支 出 58,172円

ク 人材育成事業

- ・内 容
 - 1. 新規大学生ボランティアの獲得のための新歓事業
 - 2. 学生理事の研修とチームビルディング事業
 - 3. 事業運営を担う学生の育成事業
 - 4. コアスタッフ間（大人・事務局・学生）の目的・目標の共有事業
子ども&新入大学生のオリエンテーションとなる「てらこや遊ビバ！」事業も実施。
- ・日 時
 - ・4～5月：新歓イベント（ピラまき、オリエン）の実施
 - ・隔月1回程度：「てらこや遊ビバ！」事業
 - ・8月：夏の大打ち上げ
 - ・随時てらこやフェスティバル（各事業の紹介・理念の確認等）
- ・場 所 横浜国立大学、鎌倉女子大学、明治学院大学、鎌倉生涯学習センター 他
- ・従事者人員 515人（学生：506人・大人：9人）
- ・対 象 者 オリエンテーション：小学校1年生～中学校3年生 子ども：222人
- ・支 出 476,916円

ケ 渉外事業

- ・内 容
 - 1. 鎌倉を拠点とする地元企業へと協力を呼びかける発信事業
 - 2. 行政連携を中心とした拡大事業
 - 3. 地域の諸団体との連携事業
- ・日 時
 - ・鎌倉こどもハチミツプロジェクトとの協働（月に一回程度）
 - ・鎌倉ひまわりの会・復興支援チャリティコンサートの協働（6月）

- ・鎌倉青少年会館フェスティバルへの参加（7月）
 - ・大船まつり・大船仮装パレードへの参加（5月）
 - ・山ノ内町内会宵宮祭（7月）等各種お祭りへの参加
 - ・鎌倉高校生ボランティアの受け入れ（夏休み）
 - ・建長寺さんのお掃除のお手伝い
 - ・てらこやゼミの実施 他
- ・場 所 鎌倉市内各所
 - ・従事者人員 142人（学生：120人・大人：20人）
 - ・対象者 鎌倉市内企業、鎌倉市内諸団体等
 - ・支出 181,780円

コ 復興支援事業

- ・内 容
 - ・避難所における子どもたちの遊びと学びのケア（会津てらこや）
 - ・被災遺児孤児を支援する「夢のつばさプロジェクト」への協力
以上を「全国てらこやネットワーク」と連携して実施
 - ・震災復興支援バザー
 - ・震災復興支援チャリティコンサート
- ・日 時 会津てらこや（月に2回ずつ開催、年間24回）他
- ・場 所 福島県会津若松市、鎌倉市内
- ・従事者人数 30名（学生25名、大人5名）
- ・対象者 福島県会津若松市内に在住している子ども：140人
- ・支 出 400,000円（東日本大震災復興支援事業より支出）

ケ 出向事業

- ・内 容

鎌倉市の学童保育施設13か所（大船こども会館・山崎こども会館・富士塚こどもの家・梶原こども会館・関谷こどもの家・いまいずみこどもの家・玉縄こどもの家・西鎌倉こどもの家・小坂こどもの家・第一こどもの家・深沢こどもの家・七里ガ浜こどもの家・ふかふか）へ大学生を派遣している。「てらこや」本体の事業から飛び出して、地域の中にも子どもたちや保護者と大学生という3世代が関わることによって生まれる「よき人との出会い」及び「感動体験」が育まれていく環境を作る。

また、子ども会館だけでなく、今泉小学校で実施されている稲村ガ崎小学校の「稲小らんらんスクール」にもボランティア参加。
- ・日 時 2018年4月～2019年3月毎週各会館1回ずつ開催（全371回）
- ・場 所 大船こども会館・山崎こども会館・富士塚こどもの家・梶原子供会館・関谷こどもの家・いまいずみこどもの家・玉縄こどもの家・西鎌倉こどもの家・小坂こどもの家・第一こどもの家・深沢こどもの家・今泉小学校・稲村ガ崎小学校
- ・従事者人員 大学生スタッフ：1,698人
- ・対象者 各学童施設、大船（125人）・山崎（141人）・富士塚（42人）・梶原（20人）・関谷（46人）・いまいずみ（93人）・玉縄（107人）・小坂（86人）・西鎌倉（119人）・第一（129人）・深沢（109人）・七里ガ浜（33人）・ふかふか（15人）・稲小らんらんスクールに通うに通う小学生（30人）
- ・支 出 2,994,415円